

第一次佐久市総合計画後期基本計画「チャレンジ!!」の進行状況(まとめ)

資料2-2

※ 事務局による類型  
 ■:A 「チャレンジ!!」達成済  
 ■:B 具体的取り組みを実施中  
 □:C 未着手(取り組みを検討中)

第2章 ネットワークで築く地域の個性・特色を生かした多機能都市づくり

施策コード	施策名	チャレンジ	平成28年度の取り組み		今後の方針
			類型 ※	取り組み状況	
211	高速交通ネットワーク	松本・佐久間の地域高規格道路の建設実現を目指します。	B 具体的取り組みを実施中	松本地域、上小地域及び佐久地域を地域高規格道路で結び、各地域の交通と産業経済の発展を図るため、関係市町村で組織された期成同盟会を通じて要望活動を行った。	整備には、県が地域高規格道路の候補路線として位置付けることが前提となることから、関係市町村と連携を密にした取組を進めていく。
212	地域交通ネットワーク	市民の日常生活に必要な交通移動手段を確保・維持するため、民間交通事業者、市民と一体となって地域公共交通の充実に取り組みます。	B 具体的取り組みを実施中	運行状況の検証、利用者等からの停留所の追加、運行経路の一部変更、巡回バス展示広報、乗車ヒアリング等の各種調査等に努めてきたことや、平成28年4月の山手線の増便等の効果から、平成28年度中の延べ利用者数は、112,079人と前年度より増加した。引き続き多くの市民に公共交通利用促進を理解していただき、増加傾向を維持していくことが課題である。	今後更に高齢化社会が進行し、自家用車等の交通手段を持たない交通弱者の増加により、公共交通の需要は高まっていくと予想されることから、将来にわたって持続可能な公共交通体系を構築していく。
221	土地利用	産業の活性化、雇用の増大を目指し、土地の有効利用を促進します。	B 具体的取り組みを実施中	国土利用計画の方針に沿って商業集積及び企業誘致が図られるよう市内適地について、全庁横断的な体制で、協議・検討を行った。	中部横断自動車道の佐久南IC以南の開通や北陸新幹線の延伸により、商業集積及び企業誘致に好機となる時期であるので、雇用拡大につながる土地利用を全庁的に推進していく。
222	市街地	都市計画マスタープランに基づき、地域の特性を生かしたまちづくりを進めます。	B 具体的取組を実施中	市内6箇所ですら定めた地区計画区域内における行為の届出に基づき、適合審査を行っており、平成28年度における審査実績は15件であった。 また、良好な市街地の形成、生活環境の保全を図るため、開発指導者に対して、佐久市開発指導要綱に基づく適正な指導を行っており、平成28年度における審査実績は35件であった。	引き続き、地区計画並びに開発指導要綱に基づく適切な開発指導を行っていく。
223	住宅・宅地	公営住宅の管理方法について、指定管理者や管理代行制度などを研究し、効果的な手法を導入します。	B 具体的取り組みを実施中	市営住宅1,082戸（公営住宅834戸、改良住宅63戸、厚生住宅127戸、特定公共賃貸住宅26戸、その他住宅32戸）の緊急修繕、計画修繕等の維持管理及び使用料徴収等を管理代行及び指定管理により長野県住宅供給公社に委託した。	今後も委託先である長野県住宅供給公社と連携を図り、市営住宅入居者の住環境の保全と、使用料徴収率の向上を目指す。
231	高度情報通信ネットワーク	市内の（市外でも）どこでも市役所とつながる、「電子自治体」を実現します。	B 具体的取り組みを実施中	庁内LANによる周知とともに、直接勧奨により電子申請システムの活用促進を図った。 H26年度実績 31項目 申請件数 771件 H27年度実績 27項目 申請件数 777件 H28年度実績 20項目 申請件数 924件	電子申請を活用できていない部署へ、活用促進を勧奨する。 平成30年度、電子申請システム共同利用の更新を向かえるが、次期電子申請システムは各部署が現在より更に活用しやすいシステムが導入できるよう、調達WG（長野県市町村自治振興組合）へ積極参加し要望する。 自治体クラウド（電算システム共同化）への参加を検討し、電算システムにかかる経費削減を目指す。

### 第3章 100万経済圏を目指した産業基盤の強化と新たな産業の創出

施策コード	施策名	チャレンジ	平成28年度の取り組み		今後の方針
			類型 ※	取り組み状況	
311	農業	本市の風土や条件に適した新品目の導入を図ります。	B 具体的取り組みを実施中	新品目導入試験ほ場において、実証試験栽培及び普及を進めてきた佐久古太きゅうりについて、生産者による保存会が発足し、長野県伝統野菜の登録に向け生産者の意思の統一が図られた。	新規就農者や定年帰農者向けの講習や技術指導会の実施をはじめ、より多くの品目が普及できるよう、市の施設などでもPRを行っていく。
312	水産業	佐久鯉の消費拡大のために、新しい調理法や新商品を開発します。	B 具体的取り組みを実施中	鯉の消費拡大を目指し、関係者による協議会を新設するとともに、農業祭や料理教室における新たな食べ方の提案や、PR用のパンフレットの作成等を行った。	鯉刺身の旨みに関する調査を行い、最も良い状態での流通が図れるよう生産者との協議を行う。飲食店側が鯉の刺身を利用していることをPRするためのイベントを開催する。水田鮎等の他の内水面養魚に関する支援も引き続き実施する。
313	林業	地場産材であるカラマツ材などを公共施設などに活用し、地場産材の利用を推進します。	B 具体的取り組みを実施中	森林整備事業により搬出した市有林の間伐材が「佐久市公共建築物・公共土木工事等における木材利用促進方針」に基づき、市内公共施設（佐久市立城山保育園、佐久市立もちぎき保育園、道の駅ヘルシーテラス佐久南など）の木造化の取組として構造材（柱、梁、桁、土台等）などの建築用材として活用した。	地元産材であるカラマツ材などの公共施設への積極的な活用を促進し、これら公共施設を利用する多くの方々に対して、木とふれあい木の良さを実感する機会を幅広く提供することで住宅など一般建築物への活用を促進する。
321	商業・サービス業	商店会組織の機能強化と活性化を図り、地域商店街の魅力を向上させます。	B 具体的取り組みを実施中	商工団体、金融機関等との連携により、経済状況等に応じ融資の手続きを進めた。また、成果の把握に留意し、商店街組織の行う「まちおこし事業」等に対する支援を継続して行った。	商工業者の経営は厳しい状況が続いているため、商工団体、金融機関等との連携により、経済状況等に応じた施策を進めることで、地域商店街の魅力を向上させ、地域経済の活性化を推進する。
331	観光	市民交流ひろばを活用した大型観光イベントを実現します。	B 具体的取り組みを実施中	軽井沢からの誘客として、FM軽井沢の出演や観光施設などへの誘客PRを行うとともに、各種連絡協議会等の広域的連携による観光宣伝を実施した。また、市民交流広場でのバルーン搭乗体験による誘客宣伝を実施した。	誘客PRを継続して行うとともに、新たな顧客の獲得、佐久市の認知度を高めるため各種イベントの開催や積極的な参加を行っていく。
341	工業	企業立地を実現させるとともに、医療・健康・福祉関連産業の創出と集積を目指します。	B 具体的取り組みを実施中	企業立地については、民間取引ではあるが三河田工業団地へ1社の企業誘致に成功した。工業振興においては、ものづくり支援事業や販路拡大事業により既存企業の新産業創出のための支援を行ったが、医療・健康・福祉関連産業の創出と集積には至らなかった。	今年度設立を予定している産業支援機関及び佐久市健康長寿産業振興ビジョンにより、既存企業による医療、福祉関連産業の創出を新たに図ることができる。
351	就労・雇用	地域内の働く場と雇用機会を確保し、新規学卒者の地元企業への就職を促進します。	B 具体的取り組みを実施中	就職支援員による企業や学生等のニーズ把握や分析により、より効果的な就職相談会の開催を行うとともに、社会情勢に対応した支援策を検討した。	就職支援員による関東圏の大学、短大等への訪問により、市内企業のPRを進めるとともに、ハローワーク等の関係機関と連携する中で、雇用の創出を図る。